

平成21年度第10回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時] 平成22年1月5日 (火) 18:20~22:20

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階・小会議室

[参加者] 13名: 上原弘美(患者)、三木雅貴(患者の遺族)、島袋恭子(敬愛会中頭病院)、宮城春代(沖縄県看護協会)、安次富睦子(沖縄県介護支援専門委員協会)、大城馨(沖縄県福祉保健部医務)、伊藤昌徳(ハートライフ病院)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、栗山登至(アドベンチストメディカルセンター)、笠良剛史(南部病院)、上田真(沖縄県立中部病院)、足立源樹(那覇市立病院)、増田昌人(琉大病院)

[欠席者] 6名: 浜崎盛康(琉大)、田山未知(敬愛会中頭病院)、喜納美津男(きなクリニック)、友利健彦(北部地区医師会病院)、棚原陽子(琉大病院)、中村聖哉(琉大病院)

[陪席者] 1名: 松澤智子(琉大病院)

<報告事項>

- 「平成21年度第9回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について
平成21年度第9回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。
- 「第3回沖縄県緩和ケア研修会2009」について
資料が間に合わなかったため、次回に繰り越し。

<協議事項>

- 普及広報ワーキンググループの進捗状況について
 - 三木委員より、「地域発:がん対策市民協働プログラム」の選考に、三木委員のプロジェクト「がんかわら版」出前屋が採用されたとの報告があった。オリジナルで作成した冊子やパンフレットなどを、離島圏を中心とした地域に届けることが目的とされている。2月の「緩和ケア研修会(宮古島)」で配布予定。
 - リレーフォーライフへの参加について、ブース出店をすることが承認された。相談ブースを設けるなど、アイディアは今後検討していく。
- 離島における研修ワーキンググループの進捗状況について
 - 宮古での研修会協力者と、現地で事前打ち合わせをした方が良いのではないかということが話し合われた。誰が行くかは検討中。
 - 研修会に付随して一般向け・医療者向け講演を下記の通り行うことが承認された。

	2/13（土）	2/14（日）	2/27（土）
一般向け講演会	15:00-16:00（予定） 講師：上田 真		15:00-16:00（予定） 講師：佐藤 聰美
医療者向け講演会	19:00-20:00（予定） 講師：笹良 剛史	12:00-13:00（予定） 講師：足立 源樹	19:00-20:30（予定） 講師：栗山 登至

3. 調査ワーキンググループの進捗状況について

伊藤委員より、アンケート作成の進捗状況についてはアンケート項目検討中との報告があった。

4. 「緩和ケア情報シート」について

事務局により、アドバンチストメテ イカルセンター、オリブ山病院、国立病院機構沖縄病院の3施設へ、ホスピス緩和ケア病棟への入院時に使用する診療情報提供書（緩和ケア情報シート）の統一フォーマットを依頼する文書が作成され、承認された。緩和ケア部会と相談支援部会の連名で提出する。相談支援部会での承認を待って、2月か3月には送付予定。

5. 今年度事業計画の評価と次年度事業計画の検討について

時間の関係上、次回へ繰り越し。

6. がん患者必携「地域情報」の改定について

時間の関係上、次回へ繰り越し。

7. その他

・上田委員より、県立中部病院でメタストロンの治療が開始したとの報告があった。今月は現時点で、3件の予定が入っている。

・笹良部会長より、1月16日東京で開催予定の「Peace 指導者フォーラム」に参加するとの報告があった。

そこで、「緩和ケア研修会改善のためのワークショップ」にて報告の機会があるため、部会メーリングリスト上にて、委員に対して下記のアンケート依頼があった。

1. 緩和ケア研修会を通じて得られたもの
2. 研修会の企画と運営の問題点とその改善方法
3. 研修会に使用するマテリアルの問題点とその改善方法

8. 次回開催日について

次回の部会は平成22年2月2日（火）18：20～開催されることが承認された。